



監督署の窓

論理的な安全衛生管理の推進定着を

すべての労働災害は、「災害発生プロセス」を経て発生します。このため労働災害の検証等は、「災害発生プロセス」に沿って行うことが最も論理的です。「災害発生プロセス」に沿って、なぜプロセスの進行を止められず災害発生に至ったかを検討することで、現に行われていた対策に不足がなかったか、同種災害を防止するためにはプロセスのどの段階を制御することが適当であったか

等が明確となり、災害の本質が見えてきます。

次に「災害発生プロセス」に沿って対策を検討します。一般的にプロセスの上流に働きかけるほど対策の効果は高くなります。対策の有効性、信頼性、残留リスク等が明らかになり、経験や勘に頼って考えることに比べ、より論理的、効果的、経済的な対策樹立へと繋げることができま

す。労働災害発生の場合、以下の表の左欄

1、「プロセスに沿って災害を検証する」

及び右欄

2、「プロセスに沿って対策を検討する」

について順に発生した災害の検証等を行い、論理的な安全衛生管理の推進・定着を目指していただくようお願いいたします。経験や感覚だけではなく、科学的な根拠を伴った調査を継続し、安全衛生管理を深化させましょう。

